

横浜市弓道協会の現状と課題（要望）

横浜市弓道協会

市内弓道場 9か所（公営6，私営3）、県内弓道場 37か所（公営29，私営8）

中区	市営	南地区	元町公園弓道場	5人立	(6)
戸塚区	市営	南地区	戸塚スポーツセンター弓道場	4人立	(4)
泉区	市営	南地区	泉スポーツセンター弓道場	4人立	(4)
保土ヶ谷区	市営	南地区	常盤公園弓道場（遠的場併設）	5人立	(6)
栄区	市営	南地区	本郷ふじやま公園弓道場	5人立	(6)
港北区	県営	北地区	神奈川県立武道館	10人立	(12)
港北区	私営	北地区	自彊館武道場	4人立	(4)
緑区	私営	北地区	三保弓道場	5人立	(5)
旭区	私営	北地区	徹心弓道場（遠的場併設）	3人立	(3)

()内は最大利用人数

弓道場設置行政区（太字） 市内18区中8区

公営弓道場は、北地区は県武1か所のみ、南地区に6カ所

北地区：神奈川区、**旭区**、瀬谷区、**港北区**、**緑区**、都筑区、青葉区、鶴見区南地区：南区、港南区、**戸塚区**、**泉区**、**栄区**、磯子区、金沢区、**中区**、西区、**保土ヶ谷区**

加盟団体数・弓道人口（2024年6月現在）

横浜市弓道協会加盟団体 15団体（北地区8団体、南地区7団体）

横浜市弓道協会加盟人口 一般1.110名（北地区410名、南地区700名）

神奈川県弓道連盟加盟人口 一般3.500名、加盟団体一般53団体、（学生3.710名、108校）

年間行事

市民大会 年6回開催

選考会（ねんりん・都市間） 各3回、年6回開催

研修会（ねんりん・都市間・元町・県武夜間） 月1回、年48回開催

初心者教室 市内各道場にて年1回程度開催

現状

市民大会は、通常参加者150～200人で常盤公園にて開催している。県立武道館は県連行事と重なり市民大会としてはほぼ使用できない状況である。常盤公園は遠的場を併設しているので遠的場的場のいずれかを控室として大会を開催している。5人立以上の市営弓道場は弓道場単独で建てられており、選手控室がなく大会での使用が出来ないのが現状である。遠的会場については、県内に公営1か所（常盤公園）のみであり、県の大会および関東大会等の開催に苦慮している。弓道人口は、一般の登録人数が現在1.110名で増加傾向にある。ドラマ、映画等の影響と職場環境からか、学校卒業後も継続する若者が増加傾向。また初心者教室の希望者も増加している。

課題（要望）

遠的場を併設した、選手控室、役員室等を設けた全国大会規模の開催できる弓道場の建設。

市内北部地区に弓道場の建設。

学校卒業後の経験者、過去の経験者の受入れ体制の強化。

未経験者の教室開催による受入れの強化。

宇野旗大会（市民大会）を全国大会規模開催に向けた取組み。

以上